

土木学会 舗装工学委員会
「重荷重舗装小委員会」設立趣意書

1. 設立目的

空港、港湾、鉄道等における道路以外の舗装施設、製鉄所等の工場における舗装施設等では、それを利用する交通荷重は、道路舗装に比較すると重量が大きいものの頻度が少ないという特徴がある。しかしながら、この分野に特化した研究は世界的に見ても多いとは言えず、その技術としては道路舗装のものを流用しているのが現状である。

そこで、舗装工学委員会では、平成 18～21 年度の「重荷重舗装小委員会」ならびに平成 22～25 年度の「重荷重舗装補修小委員会」を設立して、国内外の重荷重舗装の設計、材料、施工、補修に関する技術を体系化して、「舗装工学ライブラリー9 空港・港湾・鉄道の舗装技術－設計、材料・施工、維持・管理－」としてまとめた。

これらの成果は、各種仕様書類に記述されている熟度の高い事項を取りまとめたものであり、空港、港湾、鉄道といった舗装施設のさらなる高度化を図るために、新たに要求されているような事項にはあまり言及できてはいない。そこで、新たに「重荷重舗装小委員会」を立ち上げて、これら要求事項ならびにその対応方法に関する、最新技術に関する調査・研究を行うこととする。

2. 活動内容

上記の目的を達成するために行う活動内容は以下のようなものである。

1)対象が異なる舗装施設ごとに要求される特有な事項に関する調査・研究

(例) 空港：滑走路縁端帯、ショルダー等荷重がほとんど加わらない部分の舗装
港湾：コンテナヤード等、静止荷重が主たる荷重となる舗装、等

2)調査・工事の短時間（期間）化対応技術に関する調査研究

(例) 急速点検・評価、急速補修方法、等

3)重荷重対象舗装の破損形態に関する調査・研究

(例) わだち掘れに注目した、設計、施工、点検・評価、補修方法、等

3. 活動予定期間

平成 26 年 4 月～平成 29 年 5 月（3 年 2 ヶ月間）

4. 成果の公表

本小委員会の活動により得られた成果を報告書としてとりまとめるとともに、講習会等を開催して、成果を会員ならびに社会に還元する。

5. 委員構成

委員長候補：八谷好高 フジタ道路株式会社

幹事長候補：川名 太 東京農業大学

委員：今後募集

【お申し込み方法】

本小委員会への参加をご希望の方は、以下の事項を記載の上、4月30日（水）までに、下記申込先までメールにてお申し込みください。

(1)記載事項

1. お名前，ふりがな
2. 所属機関名，部署名，役職
3. 所属機関所在地
4. 電話番号
5. メールアドレス
6. 土木学会から委員就任委嘱状の必要の有無

(2)申込，問い合わせ先

東京農業大学 地域環境科学部 生産環境工学科
川名 太（かわな ふとし）

TEL：03-5477-2342

E-mail：fk205262@nodai.ac.jp